

粕屋町政刷新

2021年3月発行 第14号

発行責任者

粕屋町議会議員

ふくながよしゆき
福永善之

仲原2528-9 ㊦ 601



犯罪がバレそうになったら、病院に速攻で入院！
説明責任は放棄し、ホトボリが冷めると、コッソリ
と表舞台に戻ってくる！

政治家であり続けるために、秘書のせいにする！
政治は、国民の為ではなく、全ては、自分の為に！
そんな人たちを選び続けているのは、「あなた」です！

政治は誰のためにあるのでしょうか？

こんな当たり前の問いかけを

国会議員・地方議員にすると、必ず帰

ってくる言葉が、政治は国民のため・

住民のためにあると答えるでしょう。

しかし、実態は。国民・住民の前

では、税金の無駄使いはダメだ、と言

いながら、国民・住民にバレなければ、

裏では何をしているのか分からない

のが今の政治家の現状です。 コロ

ナウイルスの影響から1年が経過し

ました。 廃業した人・失業した人・

収入が減った人が生活に困窮してい

る一方で、税金で飯を食わせて貰っ

ている国会議員・地方議員は、どんな

ことがあっても月額報酬・年2回の

ボーナスが満額支給されます。 税

金で養われている国会議員・地方議

員が、国民・住民のための政治をしな

かった場合、政治の場から退場させ

る手段は、選挙しかありません。 当

選する前は、威勢のいいことを言っ

ても、いざ政治の世界に入ると、派閥

に入会し群れを成したり、口を閉ざ

してものを言わなくなったり、古い

政治の慣例に飲み込まれたり、長い

ものに巻かれたり、・・・有権者は散々

騙され、裏切られ、馬鹿にされ、カモ

にされ続けているのです。 騙した

人間や裏切った人間は、次も同じ事

をします。 強い者にペコペコする

様な人を選び続けて大丈夫かな。

ここで、粕屋町政での議員としての

私の立ち位置を表明。 既得権益層

でもない、特権階級でもない、エリー

ト層でもない、上級国民でもない、私

が有権者に約束できることは。 議

会の中で集団に群れないこと、議会

の中で起こったことは全て世に知ら

せること、誰も触れようとしない粕

屋町のタブーに切り込んでいくこと。

古い政治を変える為には、場の空気

を読んではいけません。 空気は読

めるが、敢えて空気は読まず、衝突や

批判は覚悟して、思ったことをズバ

ズバ発言することが必要です。

その位しないと何も変わろうとし

ない政治はビクともしないでしょう。

自分たちの利益を守る既得権益層

に、何も言えない議員が必要ですか？

有名大学出身とか、豊富な行政経験とか、国会議員や官僚や有力

者とのパイプとか、そんなことを自

慢している人を議員に必要ですか？

私は、有権者に嫌われるのは覚悟

の上、課題を自分で考え、自分の言葉

で世の中に発信していきます。

私が思う、国が取り組

むべき2つの課題

NHKは、契約の自由を保障し、スクランブル化

営業努力もせず、国民への強制的な

受信料収入で成り立っている組織が

NHKだ。NHKを見ないのに、テ

レビを持っているが故に、受信料を

払えと言っているNHK。NHK集

金人の玄関先での横着な言動は社会

問題化。払わなければ裁判に訴え

ると、893まがいの商売をしてい

るNHK。何故、NHKに対して、

契約の自由が認められないのか？

超高額な職員給与を初め、絞れる

カネは沢山あるのに、自身でコスト

カットをせず、安易に国民からの受

信料収入に頼る組織が現代社会に必

要だろうか？NHKがやるべき事

は、受信料を下げる事ではなく、スク

ランブル化だ。NHKと契約した

くない人に対し、NHK番組を受信

できなくする対応が必要だろう。

NHK予算を国会で承認している、

国会議員の罪は大きい、と私は思う。

契約の自由とは・・・

当事者の自由な選択の結果であるか

ぎり裁判所などが契約に介入するべき

ではないという理念のもと、憲法上は、

個人の尊厳（13条）と財産権（29

条）が該当する。

生きる権利と共に、

死ぬ権利を

日本は尊厳死が認められていない

が、私は本人が望むのであれば、死ぬ

権利を認めるべきだ、と考えている。

人それぞれ、死生観に対する考え方

は違う。しかし、日本社会の中には、

生き続けることを良しとし、死に対

する意見を封印する風習がある。

それ故、尊厳死の議論をすることが

タブー視され続けている。このこ

とは、死を望む本人だけでなく、本人

に近い身内を苦しめている。自分

が死にたいと思っても、死なせてく

れない社会が良いのだろうか？最

期は自分らしく死にたい社会の構築

そういう社会の実現のために、尊

宿泊を伴う、視察研修の見直し

【議会の中で、福永が訴えていること】

視察費は、毎年決まった予算（議員一人最大8万円）が計上される。視察先情報はインターネットでも十分に入手可能だ、との認識に基づき、下記の2点を指摘。

- ① 目的がなくても何らかの理由をつけて行き、また、宿泊をする必要がないのに1泊する視察が必要なのか
- ② 視察を粕屋町にどのように反映させているのか、説明責任が必要ではないか

厳死の法制化が必要と私は思う。

福永善之の選挙に対する考え方

- (一) 後援会ナシ（名簿ナシ、電話作戦ナシ・応援の強制・強要ナシ）
- (二) 選挙カー持たない（5回の選挙に一度も街宣車を使っていない）
- (三) 選挙事務所ナシ（5回の選挙に一度も選挙事務所を設置していない）
- (四) 選挙費用10万円以内（全額自己資金）
- (五) 名前の連呼しない（拡声器で音の公害を街中に投下しない）

福永の、これだけは、言わせて頂戴！

今の日本の政治に欠けているもの。それは、「A」がダメな時に、「B」を選ぶという選択肢が国民に保障されていないこと。私は、どの党にも所属していない完全無所属です。国会議員ではありませんが、一介の地方議員として、住民に信用して貰える「B」となるよう、活動していきます。

既存の国会議員は、一部を除き、与野党問わず、大幅な入れ替えが不可欠です。

4年前に3回目の当選をした私。
この4年間に私が粕屋町議会の中で
発言した主な内容です。議員として、税金から受け取った私の報酬は、4年間で約1700万円です。

- (一) PTAの加入は、強制から任意へ
- (二) 消防団の運営の見直し
- (三) 大型商業施設への投票所の設置
- (四) 半世紀以上も続く随意契約の見直し
- (五) 粕屋町職員の駐車料金の見直し
- (六) 公立保育所の土曜日保育の時間延長
- (七) 役場内でのハラスメント事件
- (八) 修学旅行中の昼間からの飲酒事件
- (九) 中学生の制服の見直し
- (十) 高齢者へ温泉券補助の廃止

(一) PTAの加入は、強制から任意へ

PTAの問題は、行事が増えるばかりで保護者の負担が増え、意味がない行事が止められないこと。保護者の為ではなく、子供の為のPTAに運営を見直すべき。伝統に縛られ、時代に適した運営にすべき。また、加入費を必要とする、上部団体への加入は意味がなく止めるべき。

(二) 消防団は、時代に適合した組織改革が不可欠

操法大会の為に団員の練習への負担が大きい。現在は、消防署が常備されており、消化のための消防団ではなく、消防署が対応できない役割分担が不可欠。また、団員の報酬が団員個人に支払われず、団長が一括

して受領するやり方は変えるべき。

伝統という名のもと、昔のやり方を団員に押し付けるのではなく、O Bの顔色を忖度するのではなく、現役団員の声を聴き、変革が不可欠。

内部からは声が上げにくいだろうから、匿名のアンケート調査をしてニーズを汲み取るべき。

(三) 大型商業施設への投票所の設置

粕屋町の投票率は都市型で町長選挙・町議選挙の投票率は40%を下回っている。若者をはじめ子育て世代の利便性を考え、買い物を楽しみながら投票できる選択肢を。

(四) 半世紀以上も続く随意契約の見直し

可燃ごみの回収業者2社に対し、

半永久的に、50年以上も随意契約をしている。公平性・経済性の観点から、一般競争入札に移行すべき。

発注者の役場が仕様書を提示せず、業者任せの見積もり金額が契約金額になっている。役場の怠慢だ。

(五) 粕屋町職員の駐車料金の見直し

役場職員が通勤時に使用する車の駐車料金は、月額1000円。市場価格から、月額4000円が妥当。

(六) 公立保育所の土曜日保育の時間延長

閉園時間が16時。現代社会の就労者が16時前に退勤できるような状況ではない。保護者のニーズをくみ取る努力が公立は欠けている。民間では土曜日の閉園時間は平日

と同等に設定している所が多く、公立と民間のサービスの格差は問題。

(七) 役場内での女性職員に対するハラスメント事件

女性職員がハラスメントを受け休

職に追い込まれた。ハラスメント

を受けた者が職場を追い出され、ハ

ラスメントの被害者が役場に居座る

ことが正義か。7名で構成される

ハラスメント委員会。外部の弁護

士が1名入っているが、実質は役場

の幹部職員で固められた内部調査機

関だ。そんな委員会できちんと調

査されたのか疑問。一人の女性の

名誉、また、人生がかかっている。

客観的な判断ができる第三者によ

る調査機関の設置が不可欠。

(八) 修学旅行中の幹部教員の昼間からの飲酒事件

中学校の幹部職員である校長と教

務主幹が修学旅行中の引率時、昼間

から酒を飲んでいた問題。内部の

論理で穏便に決着せず、いけないこ

とをわかっていてやった罪は重い。

社会の常識に照らし、処分が必要。

(九) 中学生の制服の見直し

47歳の私時の真夏の温度は、2

8度が最高値だった。現在の真夏

は、30度超えが当たり前。男子の

詰襟、女子のセーラ服は、蒸し暑すぎ

る。伝統ではなく、時代に沿って、

制服を見直すべき。また、性的少数

者の為、トイレや更衣室の確保、また、

制服は、スラックスやスカートの選

択制にすべき。

(十) 高齢者へ温泉券の廃止

一度付けた補助金の見直しができ

ない典型的な一例だ。自分の力ネ

だったら補助するのか、という視点

も大事だ。温泉という個人の娯楽

の為に税金を使うものではない。

48年間の薄っぺらな経歴【出身地： 熊本市】

現在の役職： 粕屋町議会 議会運営委員会 委員長

選挙の勝敗： 粕屋町議会議員選挙 【4回立候補し、3回当選・1回落選】

粕屋町町長選挙 【1回立候補し、落選】

貧乏旅行： 22歳～28歳まで、6年間を海外に移住（30数か国を訪問）

私の持論： ① よそ者・ばか者、が政治を変える！

② 議会の中の空気は読めるが、敢えて空気は読まない！